

## LaseView と Code V を用いた高精度レーザー光学系の設計・シミュレーションの実現

このたび株式会社光響（代表取締役 住村和彦、本社 京都府京都市）は、レーザー光源の測定・分析・評価を1台で行える「LaseView-LHB シリーズ（光響製）」と「CODE V（米国：Synopsys International 社製）」のセット利用による、高精度なレーザー光学系設計・シミュレーションを実現致しました。

「CODE V」は、国内ではサイバネットシステム株式会社が販売する、光学系の設計・評価用ソフトで、光学系の構想・設計・製造時の公差解析、コスト解析、調整機構検討等のあらゆる面で利用されます。

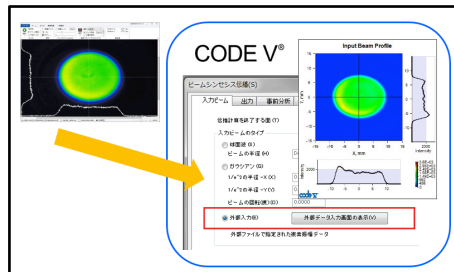
LHB シリーズとのセット利用では、LaseView から出力される強度プロファイルデータを処理し、CODE V の外部入力フォーマットへデータ変換することで、レーザービーム径やビーム拡がり角を数値面で正確に測定・分析・評価できます。

## ■製品イメージ：

## ①株式会社光響製 LaseView-LHB シリーズ



## ②Synopsys 社製 CODE V



## ■ LaseView-LHB シリーズの特長：

- ・ビームプロファイルやビーム径を簡単測定
- ・大口径のレーザー測定が可能（1 mm ~ 100 mm）
- ・低出力から高出力までのレーザー測定が可能（1 mW/cm<sup>2</sup>~100 W/cm<sup>2</sup>）
- ・スペckル（キラキラ輝く明暗の斑点模様）の低減機能付き
- ・ビームプロファイル with M<sup>2</sup> プラットフォームソフト（LaseView）付き

## ■「LaseView-LHB シリーズ」と「CODE V」とのセット利用による連携効果及び想定用途：

- ・実測データの入力ビーム使用による高精度シミュレーション
- ・使用するレーザー光源の特性・品質評価
- ・開発中のレーザー光学系の品質測定、モニタリング

## ■関連サイト：

- ・LaseView-LHB シリーズ：<https://www.symphotony.com/products/laseview/lhb/>
- ・CODE V：[https://www.cybernet.co.jp/optical/solution\\_case/list/274.html](https://www.cybernet.co.jp/optical/solution_case/list/274.html)

株式会社光響では、今後も光産業の活性化に貢献し、光技術による5大革命（情報革命・医療革命・食料革命・環境革命・エネルギー革命）の促進を支援して参ります。

本製品・本プレスリリースに関するお問い合わせ Email：[info@symphotony.com](mailto:info@symphotony.com) Tel：070-6925-5558

会社名：株式会社光響

本社所在地：京都市下京区烏丸通四条下ル水銀屋町 637 番地  
第5長谷ビル2F

HP：<https://www.symphotony.com>

事業内容

- ・レーザー製品に関する企画、設計、開発、製造、販売
- ・光技術情報プラットフォームサイトの運営
- ・レーザー業界における人材紹介